

2024年10月15日

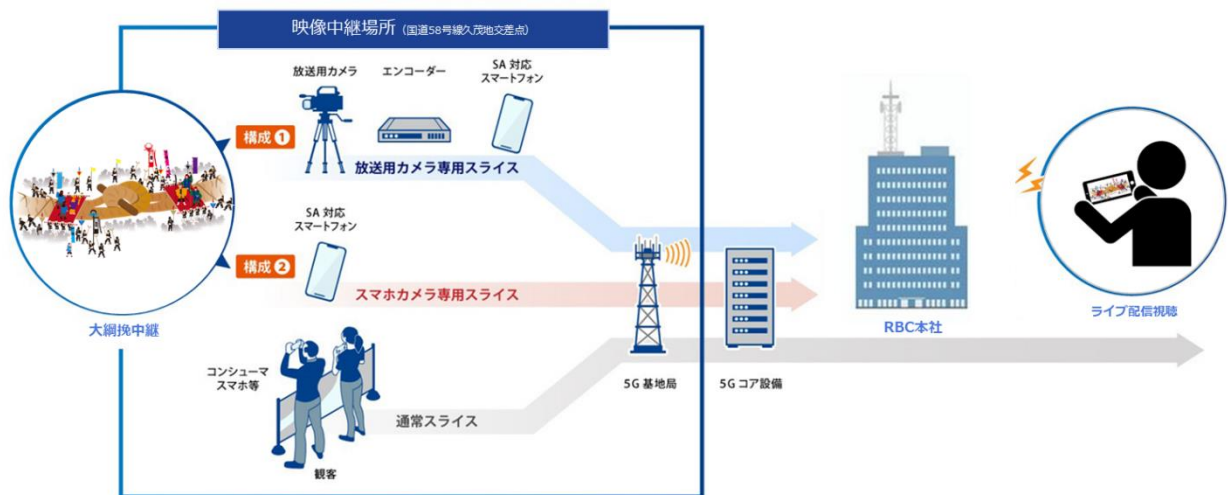
<報道発表資料>

沖縄セルラー電話株式会社
KDDI 株式会社

沖縄初 5G SA スライシングによる 第 54 回那覇大綱挽 ライブ配信を実施

沖縄セルラー電話株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：宮倉康彰、以下「沖縄セルラー」）と KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：高橋誠、以下「KDDI」）は、琉球放送株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：中村一彦、以下「RBC」）と連携し、2024年10月13日に行われた「第54回那覇大綱挽」において、5G スタンドアローン（以下 5G SA）（注1）商用ネットワークで SLA（上り下り帯域）（注2）保証型ネットワークスライシングを活用したライブ配信を、RBC 公式サイト、RBC アプリで実施しました。5G SA スライシングによるライブ配信は、沖縄県で初めての取り組みとなります（注3）。

「ライブ配信の構図」



■実施の背景

従来、屋外イベントのライブ配信では、撮影現場に専用機器を搭載した中継車を配備し、大量のケーブル配線や複雑なオペレーションが必要でした。近年、4G-LTE 回線を利用したベストエフォート型の中継手段も活用されていますが、混雑するイベントでは映像中継に必要な通信品質の維持が難しいなど、安定した通信の確保が課題でした。

SLA 保証型ネットワークスライシングでは、映像中継に必要な通信品質をエンド・ツー・エンド（注 4）で安定的に提供し、映像中継の大幅な簡易化が可能になるなど、専用機器の置き換えによるコスト削減が可能となります。特に、スマートフォンカメラを活用した映像中継では、新たな映像体験の提供が期待されます。

■ 実施概要

那覇大綱挽の中間地点（国道 58 号線 久茂地交差点）において、放送用カメラ、スマートフォンカメラの映像を 5G SA で RBC 本社に伝送し、番組制作に活用しました。上り・下りの SLA 保証型ネットワークスライシングにより、観客などが利用するスマートフォンのネットワークと論理的に分離し、各映像中継に必要な通信品質を確保しました。

スマートフォンは、小型軽量の特性を生かし、通常の放送用カメラの設置が難しい沿道カメラとして使用できるため、今後、映像制作の幅が広がることが期待されます。

沖縄セルラーと KDDI は今後も、お客さまの DX 推進や新たな体験価値の向上を目指し、検討を進めていきます。

注 1)5G 基地局に、5G 専用を開発したコアネットワーク設備を組み合わせるシステム。

注 2)Service Level Agreement の略。

注 3)2024 年 10 月 15 日時点、沖縄セルラー調べ。

注 4)データ送信元から受信先までの全過程。

参考) 2021 年沖縄セルラー報道発表

・沖縄アリーナの先端技術導入に沖縄セルラーが協力 [news_210112.pdf \(au.com\)](#)

■ 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

KDDI 株式会社

広報部

TEL : 03-6678-0690

沖縄セルラー電話株式会社

サステナビリティ経営推進部 広報担当

TEL : 098-953-3153

E-mail : auo-kouhou@au-mobile.com